

# キャンプファイヤーの準備と片付けについて

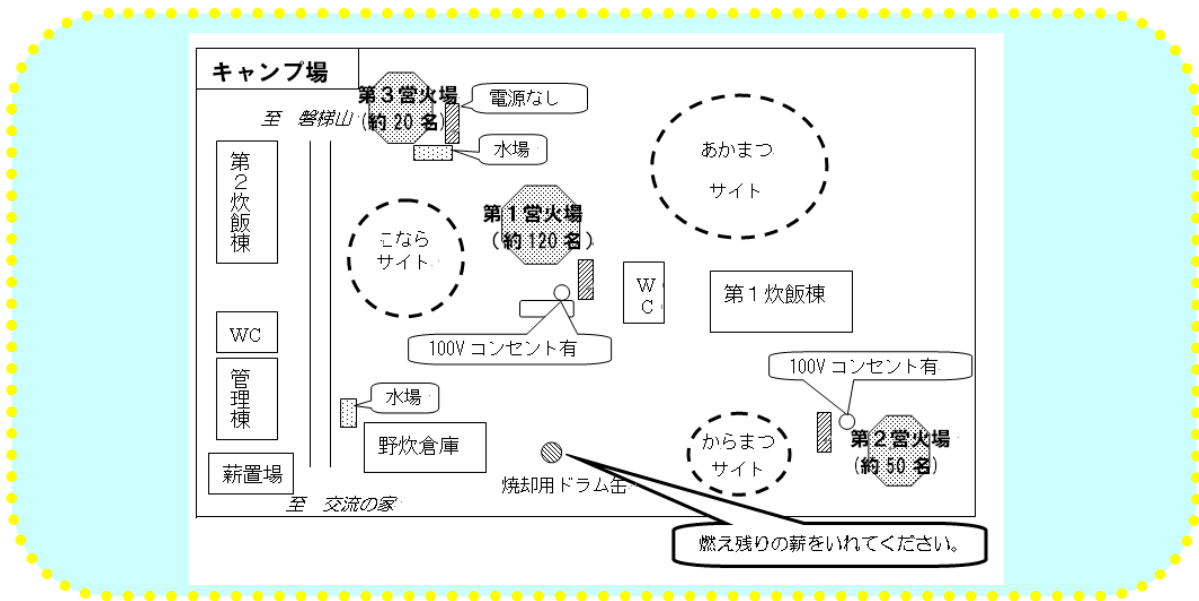
安全にご注意し、楽しく思い出に残るキャンプファイヤーになりますように。

## 🔥 準備について 🔥

①	薪 バラ	32 本	第1～3 営火場：野外炊飯場薪置き場	3,870 円/セット
	炊飯用薪 小薪	2 束	野球場・第4 営火場：グラウンド倉庫	
	灯油 (ハットボトル)	1L	売店受取	
②	トーチ棒	団体用意	売店でも取り扱っています	200 円/本
③	軍手・新聞紙・点火棒	団体用意	売店にはありません	

(参考) 追加の場合

薪	120 円/本
炊飯用薪	360 円/束
灯油	160 円/L



## 🔥 片付けについて 🔥

〔営火場のプラスチックコンテナに片付け用具が入っています。〕

- ① 薪はできる限り燃やしきります。
- ② 灰や炭は、ほうきと灰取りスコップを使って掃除をします。
- ③ 灰・炭・薪・トーチは営火場そばにある「**焼却用ドラム缶**」に捨てます。  
トーチの針金はごみステーションの燃えないゴミに捨てます。
- ④ 活動後すぐに片付けをお願いします。翌朝に片付ける場合は、消火を十分に確認してください。



**水をかけないでください。**

# キャンプファイヤー薪の組み方

## 【上段を井桁、下段八角形で組みます】

- ① 薪で数段、井桁に組む。
- ② 新聞紙を丸めて井桁の中におき、4方向にトーチで火をつける「火口」に新聞紙を出す。
- ③ さらに上部に井桁に組む。写真は12段組んだ高さ。  
(ファイヤーキーパーのために、数本残しておいても良い)
- ④ 薪24本で組むと、營火台(50cm)を含めて約1.15m程度の高さになる。  
その日の天候や団体の構成により高さ等は調整が必要。  
※炎が上がった場合、火の先端は2.5m程度になる。
- ⑤ 残りの新聞紙や炊飯用薪(小薪)を井桁の中に入れる。
- ⑥ 点火の10~20分前に灯油を中心部の新聞紙や炊飯用薪(小薪)にかけ、火口になる新聞紙にも少ししみ込ませておく。  
(トーチ棒を利用の場合は、トーチ棒にも少ししみ込ませる)。  
**※灯油がたれたり、流れたりしないように注意する**

上段：井桁（いげた）



下段：八角形（はっかくけい）

